



[2017年7月27日発行 会報第891号]

今週のプログラム

(2017年7月27日 第891回例会)

卓話：「ガバナー補佐 振り返り」

水島 洋会員

次週のプログラム

(2017年8月3日 第892回例会)

卓話：「クルマ」

山本 雅之会員

[第890回例会 (2017年7月20日) の記録]

<会長の時間>

水本 徹会長

皆様、暑中お見舞い申し上げます。

昨日、梅雨明けしまして猛暑日が続きますので熱中症始め、くれぐれもお体ご自愛下さい。

本日は近藤ガバナー補佐がお見えになられ、幹事及び理事役員の皆様と懇談させて頂きました。この後、近藤ガバナー補佐には卓話もして頂きますので宜しくお願い申し上げます。

さて、先日7月15日(土)に開催されました「第1回公共イメージ向上セミナー」に参加して参りましたので、簡単にご報告させて頂きます。

2017-18年度 RI 第3ゾーン重点活動目標は3項目あります。

重点活動項目その1：一般社会への広報

ロータリーの公共イメージと認知度向上活動を各クラブで推進する。

従来ロータリーは「広報より陰徳」の考えが主流であったが、広報メリットを理解し積極的に広報活動行うべきで、地区広報委員会がクラブに代わり報道機関各社との取材折衝をフォローする。

重点活動項目その2：各クラブは「My Rotary」への登録者数50%以上を目指す(RI会長方針)。

今後RI・地区・クラブ運営のIT化が加速する為。「My Rotary」はロータリアンのホームページとしてロータリー活動・最新の情報源になります。

(当クラブ登録者数4名19%)

重点活動項目その3：各クラブは「Rotary Club Central」へ活動Dataを定期的に入力し開示する。

メリットは・会員は自クラブの活動目標や進捗状況を各自のPCでいつでも検索可能。

- ・近隣他クラブの活動参考資料の入手が可能。
- ・ガバナーやガバナー補佐はクラブ支援提供が容易になる。
- ・RI会長賞へのチャレンジが可能。

<お客様>

IM 第2組ガバナー補佐 近藤 眞道様 (高槻西 RC)

<出席報告>

岸上 和典出席担当

会員数 (内出席免除会員 2 名) 21 名  
本日の出席者数 (内免除会員 0 名) 15 名  
本日の出席率 78.95%  
前々回 (7 月 6 日) の修正出席率 90.00%

<ロータリーソング>

全会員

♪我等の生業♪

<ピアノ演奏>

近藤 美里さん

- 1 Sweet Memories
- 2 夕焼け雲
- 3 Over The Rainbow

<ロータリー財団表彰>

第4回 マルチプルポールハリスフェロー 山田会員  
第7回 マルチプルポールハリスフェロー 黒川会員  
第8回 マルチプルポールハリスフェロー 岸上会員

<幹事報告>

山本 友亮幹事

- 1 ロータリー情報冊子のご案内を回覧致します。  
購入ご希望の方は事務局までお知らせ下さい。
- 2 自殺防止センターより活動報告及び大阪チャリティーランナー募集のお知らせが届きました。  
回覧致します。
- 3 大阪手をつなぐ育成会から冊子が届きました。
- 4 本日例会終了後、臨時理事会を開催致します。

<卓話>

個性を活かし、参加しよう

I M第2組ガバナー補佐 近藤真道（高槻西 RC）

2017-18年度 片山ガバナーのスローガンは「個性を活かし、参加しよう」です。そしてその活動の基本として「魅力のある、元気のある、個性のあるクラブを作ってください。」と片山ガバナーは私達におっしゃっています。この考え方は、当年度 イアン H.S.ライズリー RI 会長のテーマ「Rotary : Making a difference ロータリー：変化をもたらす」を地区レベル・クラブレベルでの具体的行動指針・目的として片山ガバナーが決められた事です。それぞれのロータリークラブがそれぞれのクラブが持っている個性を活かし、そのクラブのある地域社会に、あるいは関係する国際社会により変化を、貢献をもたらしていこうとするものです。

ロータリー自身もまたロータリーの長い歴史の間に時代に即応した「変化」と「個性」を生み出してきました。その変化はロータリーの五大奉仕部門を観ればお解りになると思います。ロータリークラブの五大奉仕部門、それは1.クラブ奉仕 2.職業奉仕 3.社会奉仕 4.国際奉仕 5.青少年奉仕の五つの奉仕部門です。

これら五つの奉仕部門に書かれていることは、ややもするとロータリークラブの目的と思ってしまいがちですが、英語の原本では「Five Avenues of Service」となっています。Avenueとは「大通り」の事です。パリのシャンゼリゼ大通りは、Avenue des Champs Elysees と言います。日本語訳では「部門」と翻訳されていますが、厳密には「Avenue」すなわち「大通り」で、私達ロータリアンがロータリーの目的「意義ある事業の理念を奨励し、これを育むこと」の達成のために私達ロータリアンが「進む大通り」と言う意味です。

さて、この五大奉仕部門はロータリーの歴史とともに新たに追加されたものです。D2710 2008-09年 諏訪昭登ガバナーがおやりになった2012-13年の同地区研修セミナー資料での「ロータリーの歴史年表」を参考にさせていただきますと、1905年シカゴでのロータリー創設の翌年1906年にシカゴクラブ定款が制定されており「相互扶助と親睦の概念」を導入、同年に芽生えた社会奉仕概念がその後1913年に社会奉仕活動の顕現化として現れてきます。1915年にはロータリーの道徳律が採択され職業奉仕基準の確立がなされています。

1921年には国際奉仕の綱領化が行われ、種々の変化を遂げ1923年に四大奉仕への転換へと移っていきます。その後もロータリーは常に変化し第五番目の奉仕、青少年奉仕部門は2010年(新世代奉仕)が加わることとなります。昨年の規定審議会での変革・クラブより自由な裁量権を与える概念の導入も、これらロータリーの歴史をみれば、特別な事柄ではなく、「常に変化し成長を遂げる」ロータリーの歴史的一齣なのかもしれません。

ロータリーの目的(ロータリークラブ定款第5条)の理念を常に心に持ち、それぞれがそれぞれの独自のクラブの有り方を持つこと、が求められています。よき同朋・友情に結ばれた友人を多く作り奉仕の機会とするクラブ奉仕を中心に据えたクラブ、職業上の高い倫理基準を持つことを中心としたクラブ、日々地域社会に奉仕することを実践することを中心としたクラブ、世界的ネットワークを通じて国際理解・親善、平和を推進することを中心としたクラブ・・・等々。ロータリー設立当時のロータリーの中心理念である職業倫理規定に基づく「親睦と職業奉仕」を「個性とする」クラブ、あるいは地域社会への社会奉仕活動が「個性」のクラブ、長年国際奉仕活動をおこなっているクラブ、あるいは昨今のNPOの草の根奉仕活動を得意とし、入会金なし、食事なし、が「個性」のクラブ等々 これら種々の個性あるクラブをすべて包括している組織が「ロータリー」と考えることもできます。

このことが片山ガバナーのスローガン「個性を活かし、参加しよう」につながると私は考えています。

皆さん、皆さんのクラブはいったい何を理念としているか、我がクラブの有り方は何であるのか、ロータリーの長い歴史が私達に物語っている変革と成長をふまえつつ、私達自身の個性あるクラブ活動をお願いいたくおもいます。

※スマイルボックス

水本会員	近藤眞道ガバナー補佐様 本日はありがとうございます。
西本(明)会員	7月16日広島の呉江田島(海軍兵学校)へ行ってきました。
黒川会員	暑い!!
山下会員	コメント無し

※ロータリー財団

黒川会員	暑いで〜す!!
西本(詩)会員	きびしい暑さが続いています。
高尾会員	近藤ガバナー補佐 ようこそ
山下会員	コメント無し

※米山記念奨学会

黒川会員	近藤様 今日はよろしく!!
木下(健)会員	先週末は今年初の百名山高妻山と美ヶ原に登ってきました。 戸隠神社も最高でした。
高尾・山下会員	コメント無し

※メイプル基金

黒川会員	近藤ガバナー補佐 ようこそ!!
木下(健)会員	近藤ガバナー補佐 ようこそいらっしゃいました。
西本(詩)会員	先回は欠席申し訳ございませんでした。
山本(友)会員	近藤ガバナー補佐 暑い中、ご苦労様です。
高尾会員	暑いですね。
西本(明)・山下会員	コメント無し

※ラオス基金

黒川会員	ラオスに行きたい。
西本(詩)会員	ひまわりがあざやかに目を引きます。
相原・山下・西本(明)会員	コメント無し